

# ポリカソーラーLEDライト

## 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味


**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号


**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>


**注意**

- 正しく施工、組付けをする為に、施工前に必ず施工説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず施工説明書にしたがってください。
- 多積雪地域、寒冷地域、塩害地域には対応していません。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。


**ポイント**

- 「2.設置場所の条件」を必ずお読みください。
- ソーラーパネルの設置場所に、1日4時間以上の直射日光があたるかどうか確認をしてください。
- 晴天時の正午前後に直射日光があたらない場所には設置しないでください。
- ソーラーパネルに雪が積もった場合は取除いてください。
- この商品はアーチピッチ706mmのTOEXのカーポートを標準として設計されています。706mm未満のアーチピッチの場合は、フレームを現場切詰めして対応してください。（400mm未満は対応不可）
- ライト本体は防滴構造ですが防水構造ではありません。軒先やカーポートの下など雨水が直接当たらない場所に設置してください。
- 柱などに垂直に取付ける場合は、センサー部を下側にして取付けてください。

## <施工上のご注意>


**注意**

- ソーラーパネルの分解や改造は絶対にしないでください。
- コネクターを外す場合は、絶対にコードを持って引っぱらないでください。
- 電装商品の場合は配線工事を専門業者にご依頼ください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  - ・特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。

## ■梱包明細表

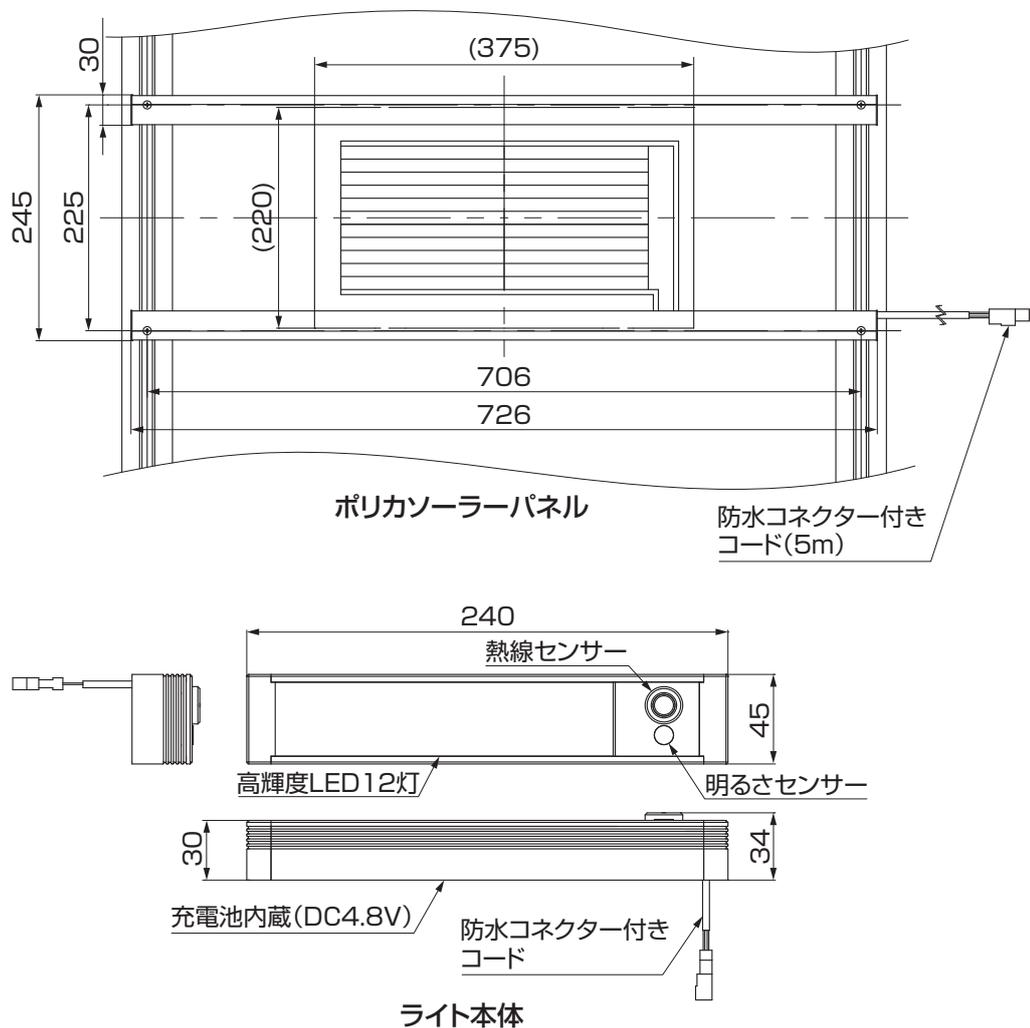
### 【1】ポリカソーラーパネルセット

名称	略図	員数
ポリカソーラーパネル		1
フレーム		2
フレームベース		2
ふさぎビート		4
【1-1】Φ4×10トラス3種		4
取付説明書〈Z426〉	-	1
取扱説明書〈UZ257〉	-	1

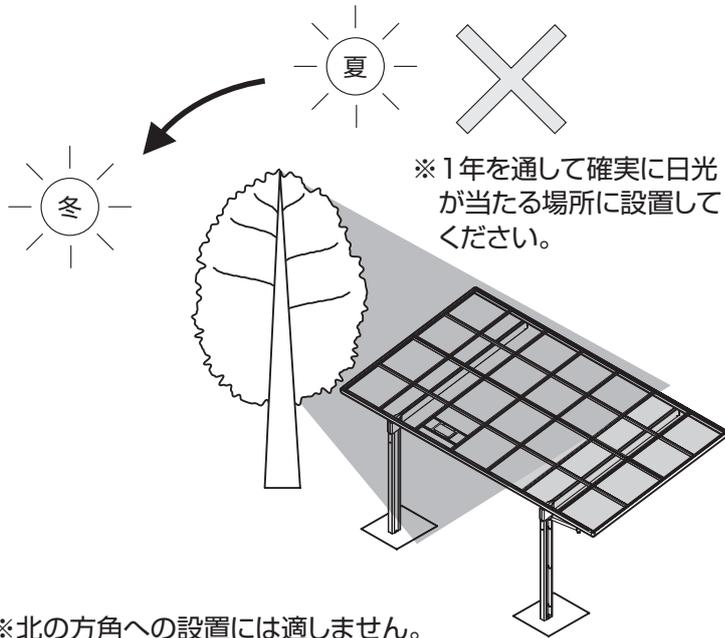
### 【2】ライト本体

名称	略図	員数
ライト本体		1
上キャップ		1
下キャップ		1
遮光リング		1
【2-1】Φ4×8ナベ3種		2

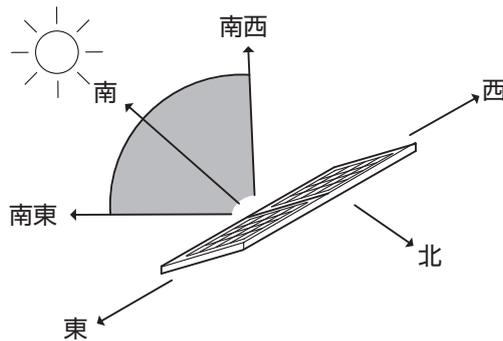
## 1. 基本寸法図



## 2. 設置場所の条件 ※ソーラー仕様を施工する時は、設置条件の確認をしてください。



※北の方角への設置には適しません。



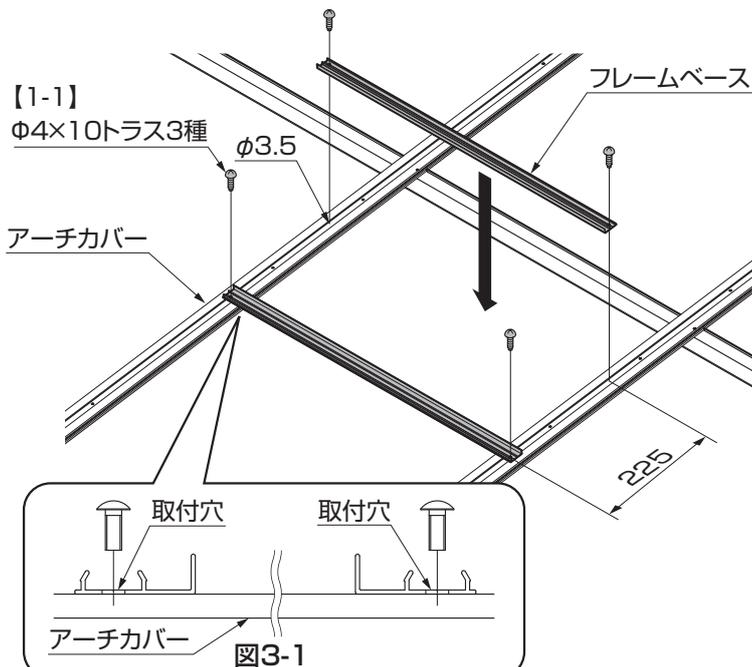
### ポイント

- 晴天時、正午前後の4時間以上、パネル全体に直射日光が当たることを確認してください。冬場でも同様であることを確認してください。
- 冬場は太陽が低い位置で移動するため、影が長くなります。夏場に日光が当たる場所でも、冬場は障害物などの陰になってしまう場合がありますので、冬場の影の長さを想定して、確実に日光の当たる位置に設置してください。
- ソーラーパネルは真南の方向に向けることが理想です。真南は太陽光を最も受けやすく、発電量が多くなります。真南を100%とした場合、南東・南西…約90%、東・西…約80%です。
- ソーラーパネルは少しでも陰になると、極端に発電量が減少します。パネルの1/10が陰になった場合で発電量は約1/4に、パネルの1/4が陰になると発電量は、ほぼゼロになります。必ず障害物のない場所に設置してください。
- ソーラーシステムは、多積雪・寒冷地・塩害地域には適しません。

### 注意

- 発電量が少ないため北の方角への設置には適しません。

## 3. フレームベースの取付け

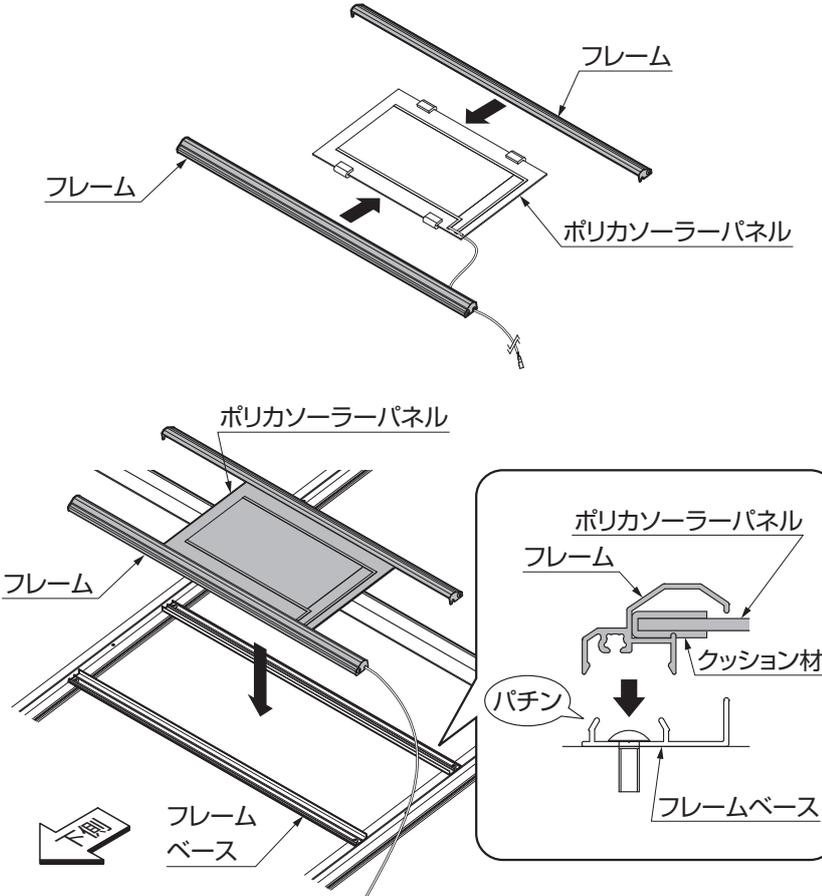


- ①カーポートのアーチカバーの中心にφ3.5の下穴をあけてください。
- ②フレームベースを【1-1】で取付けてください。

### ポイント

- 下穴加工はアーチに貫通させないでください。雨漏りの原因になります。
- フレームベースは取付け穴が外側になるように取付けてください。(図3-1参照)

## 4. フレームの取付け



①2本のフレームの間にポリカソーラーパネルをはさみ込んだ状態にして、フレームベースにはめ込んでください。

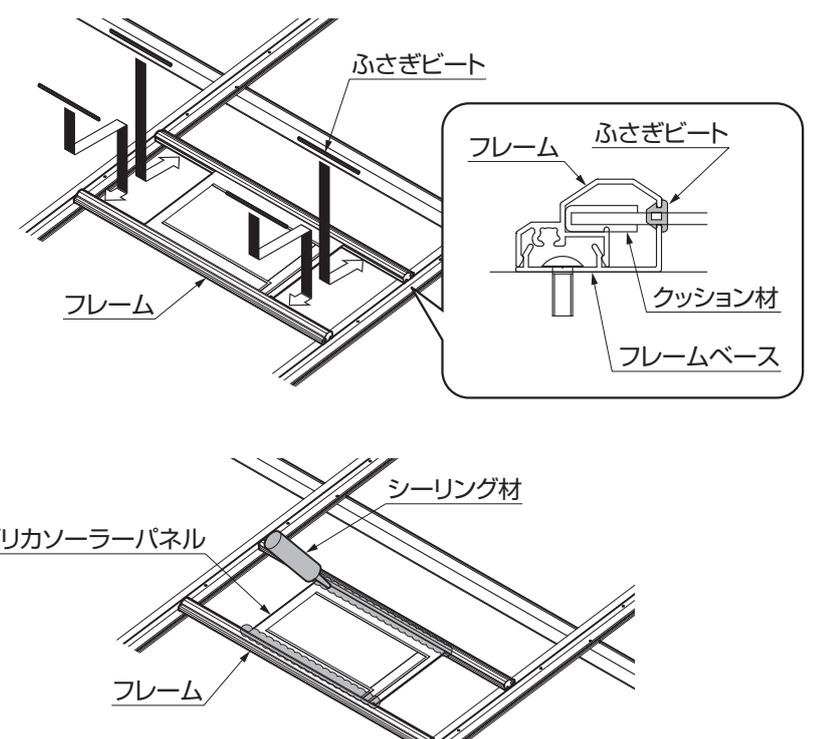
**ポイント**

- フレームはパチンと音がするまで確実にはめ込んでください。
- フレームをはめ込むときに屋根材を傷付けないように注意してください。
- ソーラーパネルは、直接屋根材に取付けないでください。雨漏りの原因になります。

**補足**

- ライト本体とソーラーパネルを接続するコードの長さは5mです。コードの長さの範囲内にライト本体とソーラーパネルがおさまるように取付けてください。

## 5. ふさぎビートの取付け



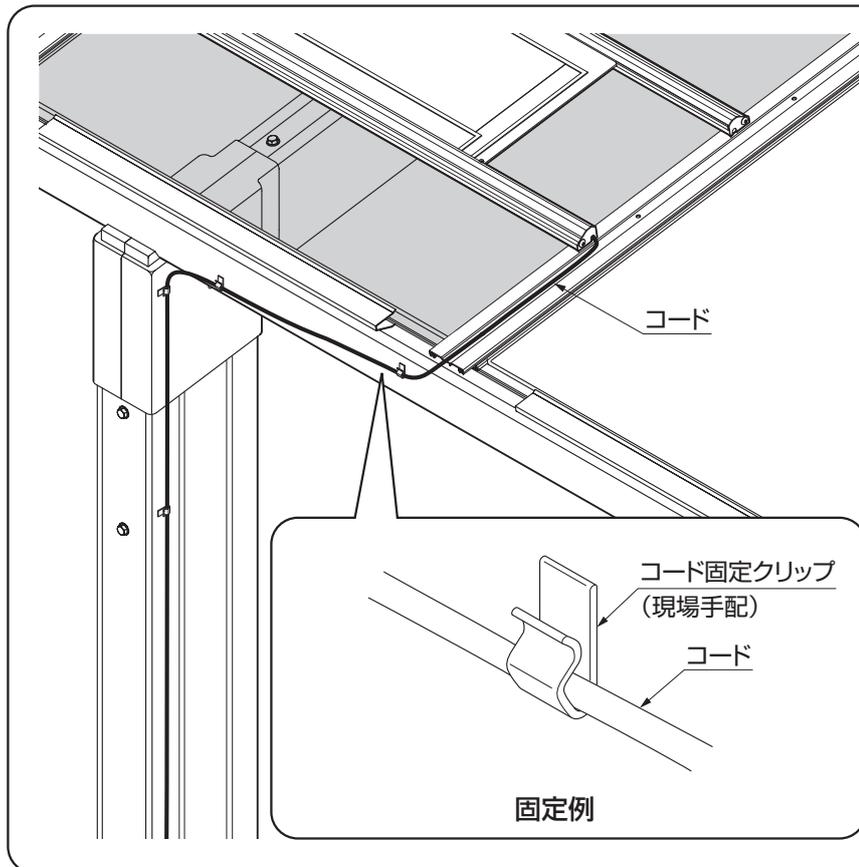
①フレームとフレームベースのすき間にふさぎビートを入れてください。

**ポイント**

- ふさぎビートは長めに出荷しています。現場で長さを確認し、長い場合はカットしてください。

②フレームとポリカソーラーパネルのすき間をシーリングしてください。

## 6. コードの固定

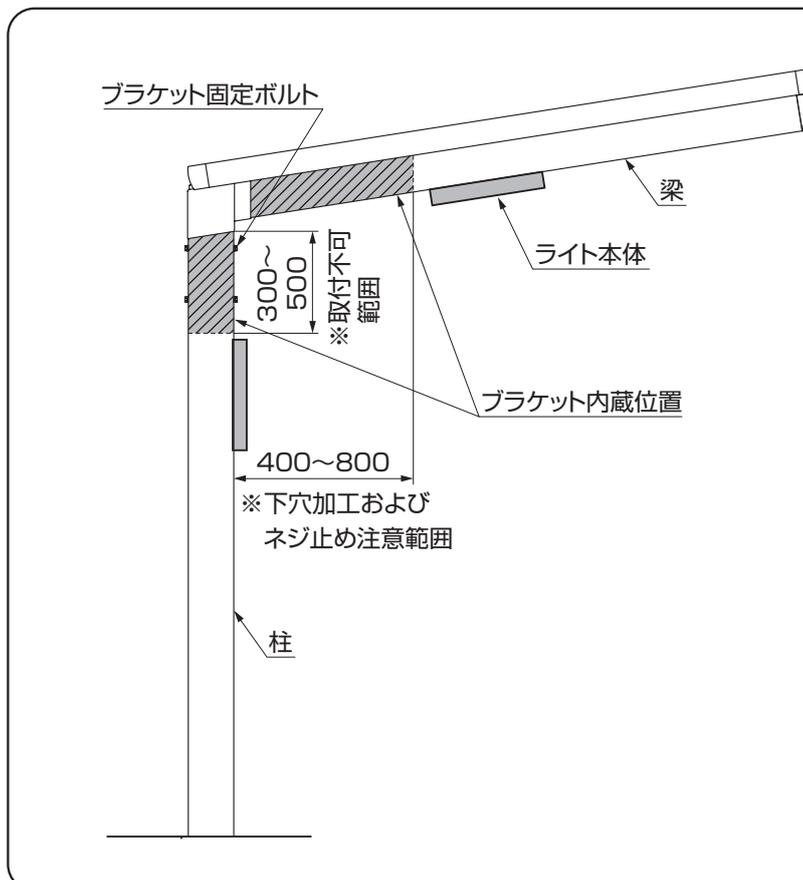


①コードをクリップ、固定バンドなどで固定してください。

### ポイント

- コードはしっかり固定してください。風の力を受けて揺れると断線の原因になります。
- コードを固定するクリップなどは現場調達になります。現場の設置条件に合った部品および必要数量を手配してください。
- ネジ止めタイプの固定バンドを使用する場合は、雨樋部分に穴をあけたり、柱に大きな穴(5mm以上)をあけたりしないように注意してください。

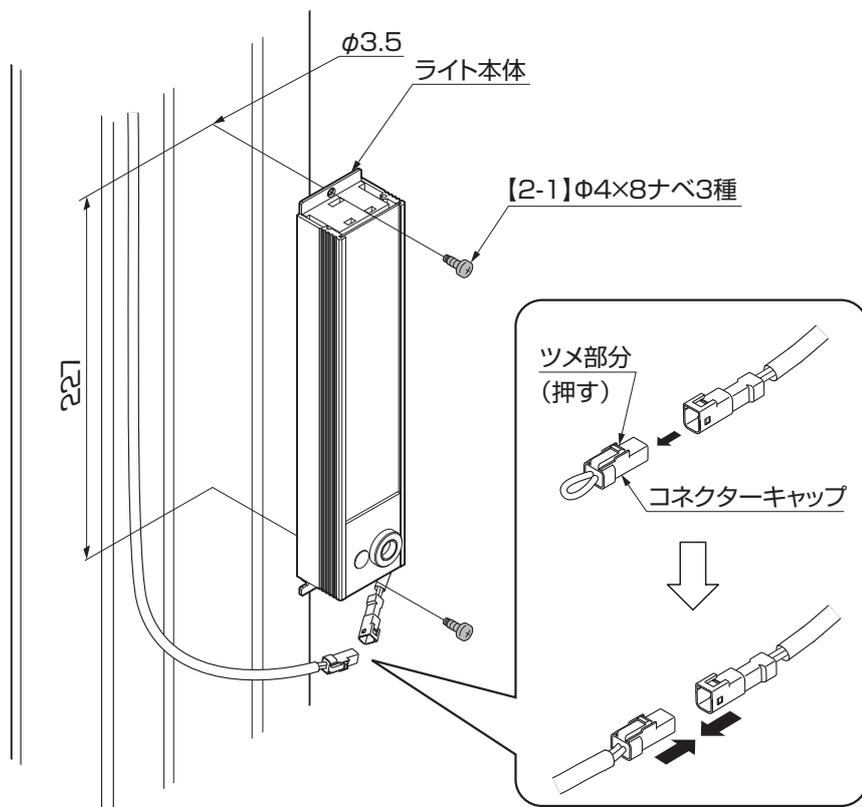
## 7. ライト本体の取付け位置の確認



### ポイント

- カーポートの柱と梁にはブラケットが内蔵されています。(ブラケットの大きさはカーポートの機種によって異なります。)
- ブラケットを止めている固定ボルトの位置にはライト本体を取付けできません。それ以外のブラケットのある位置にライト本体を固定する場合は、下穴加工の際に注意してください。

## 8. ライト本体の取付け



φ3.5  
ライト本体  
[2-1]φ4×8ナベ3種  
ツメ部分 (押す)  
コネクターキャップ

- ① ライト本体の取付け位置にφ3.5の下穴をあけ、ライト本体を【2-1】で取付けてください。

**⚠ 注意**

- ライト本体は確実に取付けてください。落下するとケガの原因になります。

- ② ライト本体下部から出ているコードに付いている、コネクターキャップのツメ部分を細いピンなどで押して、取外してください。

**🔑 ポイント**

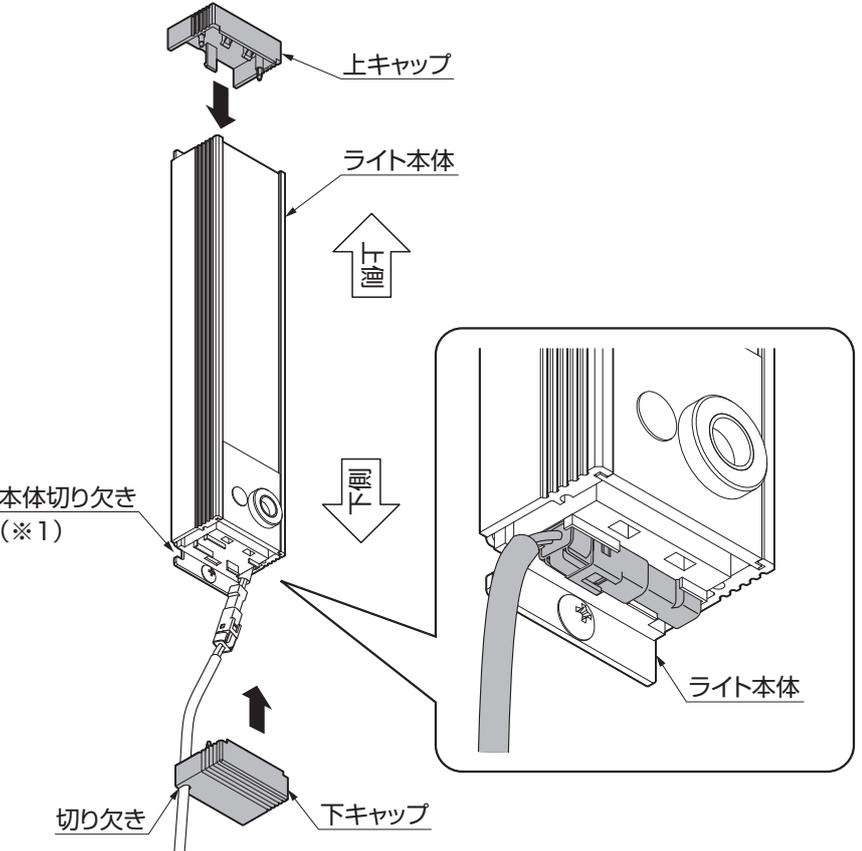
- 取外したコネクターキャップは使用しません。廃棄してください。

**✎ 補足**

- コネクターキャップを外すと通电して照明が点灯します。コネクターキャップをもどしても消灯はしません。

- ③ ポリカソーラーパネルから出ているコードのコネクターを、ライト本体の下部から出ているコネクターに差し込んでください。

## 9. キャップの取付け



上キャップ  
ライト本体  
下キャップ  
本体切り欠き (\*1)  
切り欠き  
ライト本体

- ① 上下のキャップをライト本体に取付けてください。

**🔑 ポイント**

- 接続したコネクターはライト本体下部にはめ込んでください。

**✎ 補足**

- コードを外に出さないで裏側から出したい場合は、本体の切り欠き(\*1)からコードを出すこともできます。

## 10. 各部の調整方法

### 10-1 熱線センサーの検知範囲について

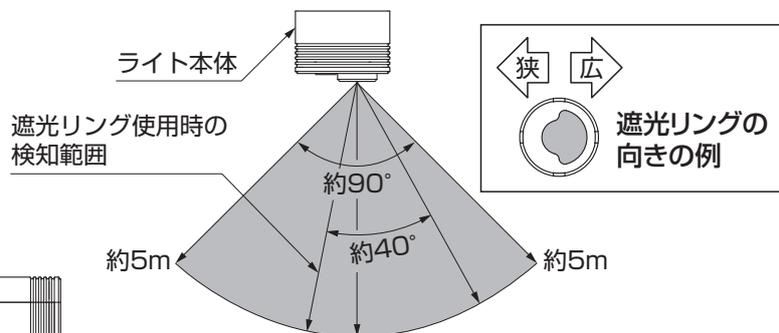


図10-1 上から見た図

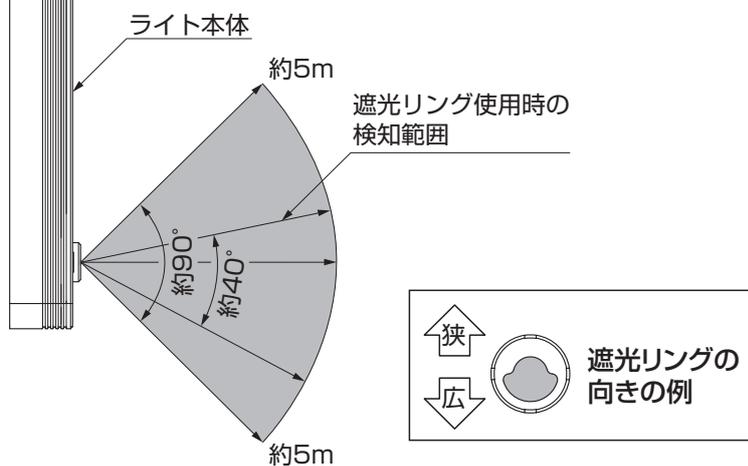


図10-2 横から見た図

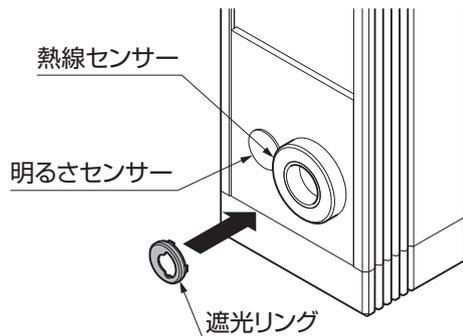
#### 注意

- 落としたりぶつけたりして、センサー部に傷をつけたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

#### 補足

- 熱線センサーをガラスなどの障害物でさえぎると人の動きを検知できません。
- センサーエリア内の温度と人の温度の差が少ない時は、熱線センサー感度が悪くなる場合があります。
- センサー部に雨水、ほこり、雪などが付着すると作動しない場合があります。
- センサー範囲(角度・距離)は周囲温度の影響を受け、変動します。
- 次のような場所での使用はセンサーが誤作動したり、感度が悪くなる場合がありますが故障ではありません。誤作動を繰り返す場合は設置場所や方向を変えてください。
  - ・ ストーブや温風器などの熱を発する物が近くにある場合。
  - ・ 急な温度変化のある場合。
  - ・ 携帯電話、コードレス電話など、無線機器が近くにある場合。
  - ・ 車のヘッドライトやネオンサインが入光する場合。

### 10-2 遮光リングの取付けと熱線センサーの検知範囲の調整方法



- ① 検知範囲が広いと感じる場合は、遮光リングを取付けて検知範囲を制限してください。

#### 補足

- 熱線センサーが作動する距離には制限があります。注意して遮光リングを調整してください。

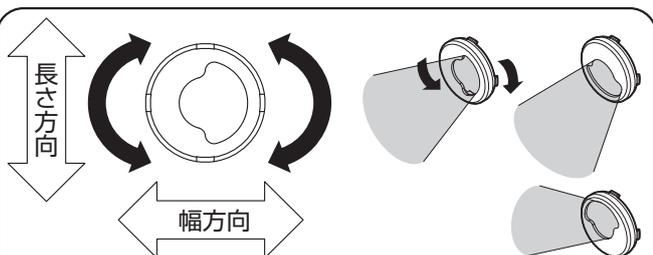


図10-3 検知範囲の調整

## 11. 動作確認 ※施工終了後、ライト本体の動作確認を行なってください。

項目	正常作動	異常と対処処理
点灯確認	<p>1日(4時間)以上ソーラーパネルに日光が当たったあと、周囲が暗い状態で、熱線センサー検知範囲に入るとライトが30秒～1分点灯する。</p> <p>※ソーラーパネルの発電量が足りないと、充電が不足し、点灯時間が短くなったり、点灯回数が少なくなる場合があります。</p>	<p>点灯しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コードの接続を確認してください。(「8. ライト本体の取付け」参照)</li> </ul> <p>点灯時間が短い。または点灯しなくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーラーパネルに日光が当たっている時間を確認してください。</li> <li>・ソーラーパネルが木や建物の影に入っていないか確認してください。(「2. 設置場所の条件」参照)</li> </ul> <p>暗くないのに点灯する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るさセンサーの周りの障害物などで暗がりかできていないかを確認してください。</li> <li>・明るさセンサー部の汚れを拭き取ってください。</li> </ul>
熱線センサーの検知距離の確認	<p>周囲が暗い状態で、ライト本体から5m以内に人が近づくとライトが点灯する。</p>	<p>点灯しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センサーの検知範囲を調整してください。(「10-2 遮光リングの取付けと熱線センサーの検知範囲の調整方法」参照)</li> <li>・熱線センサー部(白いドーム状のレンズ)の汚れを拭き取ってください。</li> </ul>

## 12. 仕様

### ライト本体

ライト	種類	高輝度白色LEDランプ×12個
バッテリー	種類	ニカド電池 DC 1.2V×4個(円筒密閉型)
	電圧・容量	4.8V-600mAh
照度センサー作動		約2ルクス以下(本体設置場所にて)
重量		435g
点灯条件		満充電後、熱線センサーにより30回/1日点灯(1回30秒～1分点灯)として、無日照5日間程度の動作

※LEDにはバラツキがあるため、同一品番商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。

### ソーラーパネル

種類	樹脂基板アモルファス太陽電池モジュール
出力	晴天時 約5.5V 約1.3W (最大7.6V 2.0W)
重量	812g(取付けフレーム含む)

取説コード

**Z426**

JZZ622122  
201104A\_1041